
私立赤月女学院 ～オカマによるオカマの為のオカマの学校～

岡崎 朱羽

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私立赤月女学院 ～オカマによるオカマの為のオカマの学校～

【Nコード】

N4721E

【作者名】

岡崎 朱羽

【あらすじ】

私立赤月女学院。それは女子校ではなく『オカマによるオカマの為のオカマの学校』である。女になってしまった俺は女子校だと勘違いして入学してしまった。共学を受験すればよかった(涙)。

プロローグ

なんだよこ〜!!

俺の名前は秋本 みかん。今日から女子高生だ。え？なんで『俺』かだつて？ああそれねえ〜俺二ヶ月前まで男だつたしい〜中学生だつたんだよねえ〜。半陰陽つてヤツ？アハハハ。まあそれは置いて今俺はひじょ〜に困っている。何故ならここ『私立赤月女学院』は『オカマによるオカマの為のオカマの学院』だからだあ〜!!そんな女子校あつてたまるか!!夢だ夢!!夢だつて誰か言ってくれえ〜!!

「え〜。私が理事長の『赤月 日名子』です。皆さん仲良く過ごしましょう。」一応理事長は正真正銘の女らしいんだが…なんでも息子によく女装させて楽しんでいたらしい。それがエスカレートしてついにこの『私立赤月女学院』を創ってしまったらしい。ちなみにまだ三十五歳らしい。女子校だからなんだか安心したんだけど…。

オカマ学校かよ〜!!

いゝ！？（前書き）

ファンの皆さん、大変長らくお待たせいたしましたあゝ（ファン
なんていねうゝよ…）

いゝ！？

私立赤月女学院。それは女子校ではなく、『オカマによるオカマの為のオカマの学校』である！！

オカマしかいないなんて…。女の子はどこだあゝ！！俺だけだった…（涙）。誰が好き好んでオカマ高校に入るかよ！！騙された！！

「みかんちゃん」黙れオカマ！！あたしの名前をよぶな！！

「ボク、柊 ひなたっていうの」あゝうぜえオカマの御託なんざききたかねえよ！！

「安心してボクは女の子だよ」心を読んだ！？ってなんですとおゝ！？

「半陰陽で去年の夏休みからなんだけど」

「え！？あたしと同じ…」

「やつぱり よろしくね」よかつたあゝマジあぶねえ…。なんつゝの？元男同士の友情って言うの？現女同士の友情って言うの？まあ嬉しいわけよ。むさいじゃん？男だぜ？女子校だぜ？オカマだぜ？まあ中には可愛いのもいるんだけどね。ニューハーフがざつと1000人。なんせウチの学校10000人だしさ。先生は全員ニューハーフだよ？校長（理事長）と教頭（旦那）以外はね。あぶねえよ！この学校！！オカマ社会！！あたし女ですうゝ（泣）

「泣かないで。気持ちは同じだよ。ボクも最初驚いたよ。びっくりいゝ。」

「ありがとうございます」親友ができたようです。神様…このオカマ社会は何とかならないのでしょうか…？とりあえず、ひなちゃんがいるか

ら何とか耐えられそうです…。(涙)。

ども、みかんです。次回のお話は？

何？身体測定？男体パラダイス？あたしは大変な事に…。

『男体パラダイスう〜？いやあ〜！！』読んでね（はあと）。

男体パラダイスう〜？（前書き）

大変お待たせしました。

男体パラダイスう〜？

身体測定がある今日、あたしは憂鬱です。

「ひ〜な〜た〜！！ばれちゃうよう（涙）」

「あ、今日って身体測定だっけ？まずいかも…」今のところ女は二人だけ。あたし達には整理がくる。つまり、子宮があるってこと。ばれちゃうよ！！あたしの人生終わったわ…。

次々と呼ばれていくオカマ達。マツチヨなオカマ、かわいいオカマ。男臭いよう…。いや、最近まで男だったんだけどさ。やっぱりオカマは凄いやいろいろいる。

「秋本さん」

「はひ！！」噛んだ！！しまった！！

「聞いてるわ。」

「は！？」

「あなたの事よ。」

「安心なさい。私は女よ。」よかったよ〜。マジ助かった〜。

「あなたのお母さんと私は従姉妹なのよ。あなたにとってはおばさんにあたるわけよ。むか〜し、あなたの家によく遊びにいったわよ。ほら、明美おばさんよ」

「あ、覚えてる。よく遊んでくれた遠藤 明美おばさん」

「そ、正解。まあ、家の子とも仲良くしてあげてね。じゃ、次の人〜！！」終わったわ！！助かった

「ねえ、あなたみかんじゃない？」

「え？うん。そうだけど…」

「やっぱり 覚えてるかしら。昌よ。あ〜き〜ら。」

「あ〜ちゃん！〜どうして？」

「私も騙されたのよ。女子校って聞いてたのにオカマの学校なんだもんびつくりしたわ。そういえばお母さんから聞いてるわよ。まあ、仲良くしましょ」

「うん。」そんなこんなではとこの再会をしたあたしは教室に帰った。

みかんちゃん！！みかんちゃん！！

あれ！？あたし寝ちやったの？まあ、いいや。みかんです。

瀬能です。いやあ〜、このコーナーも二回目だね。

はい。あたし、このコーナーが楽しみなんです。

そっか〜。実は私もこのコーナーを書いているほうが好きなんだよ。

真面目にやりなさいよ！！あ、昌です。

まあまあ、落ち着いて。

わかってると思うけど私は女よ！！オカマじゃないのよ！！いいこと、瀬能さん！！私をオカマと書いたらただじゃおかないわよ！！わかってるよ。

今回は

この学校生徒であるならば必ず部活に入ること。そんな校則に基づき部活動誘が始まった！！みかん達は何部に入るのか？

『その名は、OKM』見てね

その名はOKM(前書き)

大変、お待たせしました。

その名はOKM

部活に必ず入るべし。オカマ学校に限らず、どこの学校にもそんな規則があるはずだ。今回お送りするのは、ちょっと変わった部活のお話

「部活？ かつたるいじゃない。文化部にするわ」

「みかんは、面倒くさがりやだからね」

「昌、どついう意味よ」

「そのまんまよ」キャピキャピの女の子の会話を書くのは楽しいなあ。あ、瀬能です。今回は私視点ですので。

ここはとある教室。

「『Ositoyaka Kawaii Massugu』略して『OKM団』！！」一人のオカマが叫んでいた。この『OKM団』、ハ○ヒのパクリでは？ ま、それはいいとして彼女（？）の名前は厚宮^{みや} 春香^{はるか}聞けば、ニューハーフだとか。（お前の作品のキャラだろ！！）いたた。なんか聞こえましたね。てか、石投げたっしょ！！ やめ、やめなさい！！ いたた。全く誰ですかね。おっと、続き続き。

そんなこんなで、みかん達は『OKM団』に入ることにした。

「あら？ みかん 入るのね」

「春香。暇だからよ」「みかん」

「ひな？ 入るの？」

「うん」

「あなた達入るのね？」 冷静に春香は言った。

「「うん」「」

「待ちなさい！！ 私も入るわ！！」 昌が現れた。こうして『OKM

団』が結成された。「みくかん」

「ひな？入るの？」

「うん」

「あなた達入るのね？」冷静に春香は言った。

「うん」

「待ちなさい！！私も入るわ！！」昌が現れた。こうして『OKM団』が結成された。

活動を始めたみくかん達。驚きの活動。次回『うっそー』見てね

これが私の部活動？（前書き）

このシリーズでは超お久しぶりですね。スランプでしたごめんなさい…。

これが私の部活動？

どうもみかんです。今日、あたしたちはオカマクラブにいます…。客ではなくホステスとして。未成年なんですけど…。てゆうか何なんだこれ。何ですかこの羞恥プレイ。聞けばここ、春香のお姉さん（本当はお兄さん）が経営していると…。兄弟揃ってニューハーフとは将来どうなるお前の家は。

「さあさあ、始めるわよ」どう見ても女、それも美人のオカマさんが来た。声も綺麗だし。

「貴女がみかんちゃんね。かわいい。私は春菜。春香の姉よ。妹からもかわいって聞いてたから期待しちゃったのよ。予想通りかわいい」

「はあ…」どうでもいいが貴重な休みを部活だといってオカマクラブの手伝いとは…今後一切やりたくないものだ。

「お帰りなさいませ。ご主人様」なぜだ…。何故オカマクラブなのにメイド喫茶と化しているのだろう…。まあ、綺麗な人しかいないからいいのだろう。ん？バイト募集用紙？

バイトしませんか？条件はこちら「美形であること（美形でも声が図太かった採用せず、牢屋にぶち込んだあと重労働が待っています。

）」

「…」監禁ですか…。限られた人しか働けないじゃん。それでいて儲かってるなんて凄いわ。

「みかんちゃん！！写真撮ってよ。君高校生なんだって？萌える
く！！ご奉仕してください」なんてこった…。あたしに指名がか
かつちまったよ。最悪だ…。このあともいろいろ指名が多々あつた。
ぶつちやけもついでだ…。休みだというのに次の日もやらされた。
お願い…。日曜だけは寝かせて…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4721e/>

私立赤月女学院 ~ オカマによるオカマの為のオカマの学校 ~

2010年10月17日03時42分発行